

どんな取組をしているの？

財政運営の取組

札幌市は、平成25年10月に新たなまちづくりの指針「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定し、これを実現するための「中期実施計画」として、札幌市の行財政運営や予算編成の指針となる「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015」を策定しました。その中で、札幌市が将来にわたって必要な市民サービスを持続的に提供していくため、「バランス」を重視した財政運営を進めていくことを基本方針としています。

財政運営の方針

メリハリの効いた財政運営

都市の魅力や活力の創造に向けた積極的な財政運営

将来世代に過度な負担を残さない健全な財政運営

これら3つの方針を踏まえて、次の4つの取組を進めていきます。

財政運営の取組

① 予算運営手法の改革

プランに盛り込んだ計画事業を着実に実施するため、計画期間中の財源の見通しを明示した「中期財政フレーム」に基づく予算編成を行います。

中期財政フレーム2015（一般会計） ※平成28年度予算反映版

区分	平成27予算	平成28予算	平成29見込	平成30見込	平成31見込
一般財源（臨時財政対策債を含む）	4,726	4,754	4,761	4,763	4,764
国・道支出金	2,360	2,508	2,587	2,576	2,630
市債（臨時財政対策債を含めた場合）	474(994)	678(1,183)	660(1,165)	540(1,045)	499(1,004)
その他	1,400	1,380	1,396	1,396	1,393
基金活用額	50	46	18	16	47
合計	9,010	9,366	9,422	9,290	9,333
計画事業費	2,153	2,457	2,446	2,202	2,139
その他事業費	6,857	6,908	6,976	7,089	7,194
義務的経費	4,453	4,546	4,613	4,696	4,788
職員費	878	862	844	838	842
公債費	874	849	842	859	883
扶助費	2,700	2,834	2,928	2,998	3,062
他会計繰出金	1,073	1,053	1,048	1,074	1,084
その他事業費	1,332	1,309	1,314	1,319	1,322
合計	9,010	9,366	9,422	9,290	9,333
（参考）一般会計市債残高の見込	10,141	10,621	11,082	11,404	11,661

※毎年度の予算編成時に中期財政フレームを更新していきます。

それぞれ主な取組を紹介しています。

子育て支援、観光振興など子育て支援、観光振興など資源を重点的に配分した施策を実施していきます。

② 歳入・歳出の改革

事務の執行方法の見直し

- 効率的かつ効果的な運営によるコスト縮減
- 効率的な職員配置による人件費の見直し

受益者負担の適正化

- サービス提供のために必要なコストと料金のバランスの検証による適切な受益者負担

資源の重点配分と必要な市民サービスの確保のため、全体的な見直しを続けていくよ。



③ 財政基盤の強化

収納率の向上

- 市税、国民健康保険料などについて、収納率の目標数値を設定し、収納対策などを強化

公有財産の戦略的な活用

- 市としての利用が見込めない土地は、まちづくりに資する活用の可能性も考慮しつつ売却

自立的な行財政運営のためにも、収入の基盤を強くすることが必要なんだね。

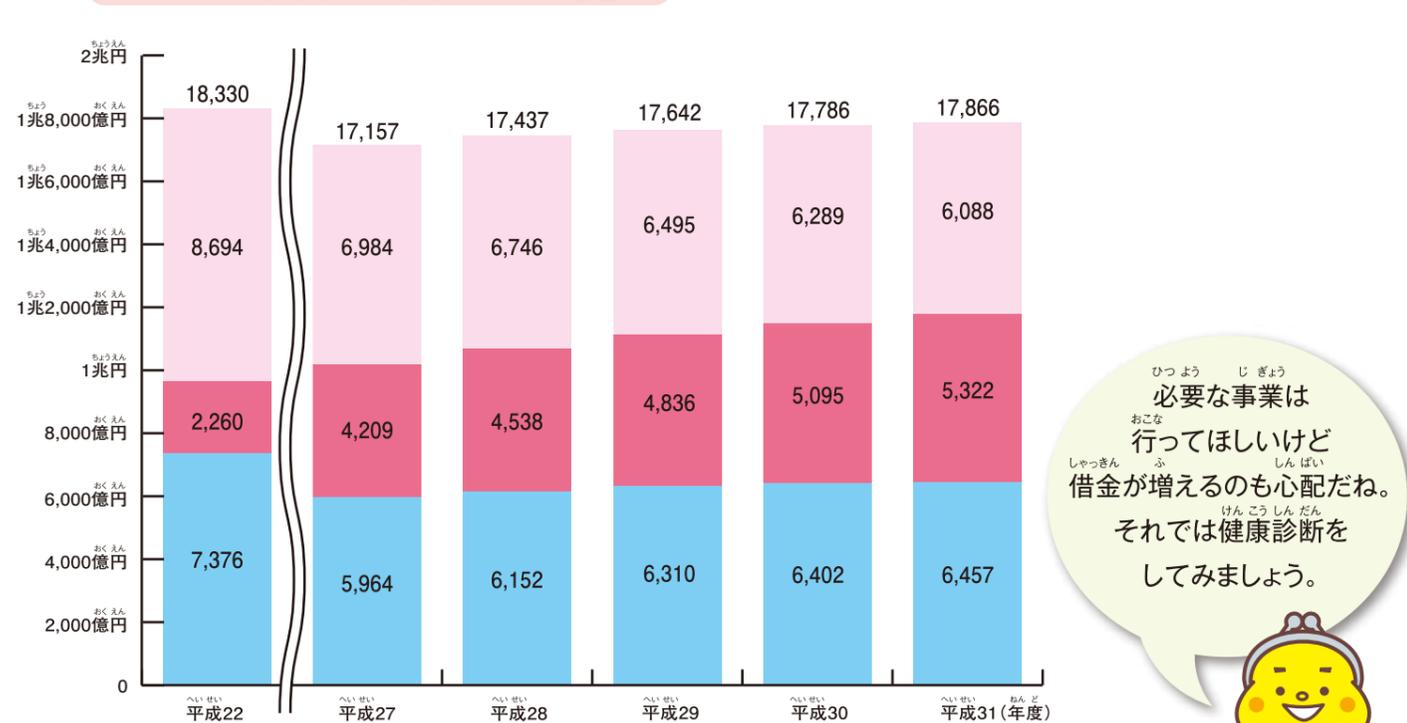


④ 財政規律の堅持

将来に過度の負担を残さないよう、市債管理の考え方を定めます。

一般会計では、臨時財政対策債のほか、建設事業のための市債の残高が増加に転じ、今後の建設事業の推移によっては、その借金の返済のために財政の硬直化を招く恐れもあるため、予算編成過程での財源確保の取組や事業費の精査、効率的な事業執行などによって、可能な限り市債の発行額の抑制に努め、将来に過度な負担を残さないよう財政規律を守っていきます。

計画事業費などを反映した市債残高見込み



※アクションプラン（速報版）の数値です。

必要な事業は行ってほしいけど、借金が増えるのも心配だね。それでは健康診断を試みましょう。

